

JEAS News

vol. **39**

2023 夏号

令和5年度通常総会・記念講演会・設立22周年慰労会特集 ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～

☆なるほど!万引防
止・ロス対策情報は
JEAS Facebook



☆月2回定期配信
ロス対策メールマガ
ジン



～防犯民主主義実現に向けて～
EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会



新役員、新会員、推薦製品記念写真

認定個人情報保護団体

工業会 日本万引防止システム協会

JEAS News

第39号

目次

EAS、カメラ分野を担当する工業会として	表紙裏
あいさつ 工業会日本万引防止システム協会 会長 稲本 義範	3
あいさつ 総務省総合通信基盤局電波部電波環境課 課長補佐 藤原 史隆様	4
あいさつ 個人情報保護委員会事務局 企画官 大星 光弘様	5
感謝状贈呈の皆様からの受賞コメント	6
通常総会・記念講演会 ICT 教育を小売業全体で実践！そして宇宙への道	7
令和5年度事業計画	9
総会決議 推薦製品制度の発令、推薦製品の紹介	10
サーマルカメラ等に保存されている個人情報（顔画像）漏洩に関する注意喚起	10
満員御礼 セキュリティショー2023 JEAS ブースとセミナー	11
JEAS 緊急セミナー サイバーセキュリティ対策	11
新規正会員あいさつ	12
15分勉強会	12
セルフレジ不正防止のための冊子作りのための委員	12
個人情報管理室だより	12
創立22周年記念 慰労会参加者の皆様 お疲れ様でした。	13
ロス対策士情報とJEAS報奨制度について	13
工業会 日本万引防止システム協会のご案内	14
事務局長編集後記	14
工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧・組織図	15
工業会 日本万引防止システム協会 会員名簿一覧 ご相談窓口について	裏表紙

EAS、カメラ分野を担当する工業会として

中小企業等経営強化法の経営力向上設備等及び生産性向上特別措置法の先端設備等に係る生産性向上要件証明
[分野：電子商品監視機器（EAS）、防犯カメラ] に関するお知らせ

- (1) 2017年度税制改正により、中小・小規模事業者の「攻めの投資」を後押しするため、従来の産業競争力強化法に基づく「中小企業投資促進税制の上乗せ措置」を改組し、中小企業等経営強化法に基づく「中小企業経営強化税制」が創設されました。
- (2) また、中小企業等経営強化法に基づく「固定資産税の特例措置（地方税）」においても、対象設備細目が2017年4月1日から拡充されました。
- (3) 当協会としては、ユーザー様及び会員の要望に応えるため、さらには「攻めの防犯」と「防犯民主主義」※を推進するために、2018年1月25日の理事会承認を経て2018年2月1日より本証明書の発行受付をスタートしました。
※「攻めの防犯」と「防犯民主主義」の説明 <http://www.jeas.gr.jp/pdf/20180307.pdf>
- (4) さらに、2017年度税制改革により中小企業等経営強化法と2018年度生産性向上特別措置法（新規取得設備の固定資産税が減額になる制度）の先端設備等に係る生産性向上要件の証明証が一本化されました。当協会の会員および会員外の設備メーカーも申請できますので、ご活用ください。
- (5) なお、中小企業経営強化税制につきましては、2025年3月末日まで延長される予定です。詳しくは工業会ページをご参照ください。 <http://www.jeas.gr.jp/intro08.html>



JEAS Facebook も絶賛公開中！

<https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>





皆様こんにちは 稲本です。みなさまのお蔭を持ちまして6月2日で工業会日本万引防止システム協会、略称、工業会 JEAS は、設立22年目を迎えます。平成30年には経済産業省・中小企業庁より EAS と防犯カメラ分野の工業会認定を受け、令和2年に個人情報保護委員会認定の認定個人情報保護団体となり、万引防止システム関連に従事するあらゆる企業が参画する産業団体に成長しております。「防犯民主主義実現」を掲げ、ロス・プリベンション推進に尽力している団体でもあります。

最近の犯罪の状況ですが、令和4年は20年連続で減少してきた全国の刑法犯認知件数が増加に転じております。万引の認知件数はその中でも13.9%と高止まりが続いております。同時に、大量窃盗の横行やセルフレジ普及などの影響もあって、ロス率が悪化に転じている店舗様から相談をお受けすることが大変多くなっています。

さて、本年度テーマ：ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界 合言葉は～協働防犯～、特別講演のテーマ：ICT教育を小売業全体で実践！そして宇宙への道、です。なぜ、そのようなテーマにしたのかは、何卒、本日の総会や記念講演会を通して、感じとっていただければ幸いです。

なお、本日会場にお配りさせていただいた「ロス・プリベンションへの道シーズン3 ～コロナ時代に萌芽させた活動～」の中には、2020年2月から2023年1月までのロス対策の記録があります。コロナ禍で萌芽した、例えば、ロス対策メルマガ、推奨顔認証システム制度、科学保安制度、推薦製品制度、姉妹団体の万防機構のロス対策士検定制度の誕生秘話があります。オンラインの皆様はチャットのリンクでご確認できます。

一点、お詫びになりますが、通常総会では、いつも3部意見交換会があるのですが、本年はございません。名刺交換や挨拶は休憩時間や第2部記念講演会終了16時頃にさせていただきます。なお、それが終わりましたら、弊方は筑波山に向かいます。明日、子孫繁栄で知られる筑波山神社拝殿、山頂の女体山拝殿にて、JEAS が22周年を迎えた感謝のお礼、そして、関係の皆さまの長寿と繁栄をご祈願するためです。

結びになりますが、当工業会の使命は、万引犯罪撲滅を目指すソリューション団体として、誰もが等しく安全・安心を享受できる防犯民主主義の実現にむけ、「店舗のロス・プリベンション」を軸に、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止・大量窃盗団の阻止・万引者の再犯防止・内部不正対策・ロス対策という産業的・社会的役割を果たすことです。引き続き、この使命・そしてこの活動を次の時代へと紡いで参ります。本日はご参加誠にありがとうございます。

ロスプリベンションへの道

シーズン 3

～コロナ時代に萌芽させた活動～

・・・セキュリティ産業新聞 連載・・・

万引対策百般TOKYO立(だ)ち 余話1話～25話

米国LPマガジンより 日本のロスプリベンション

NPO法人 全国万引犯罪防止機構 事務局



<https://www.jeas.gr.jp/pdf/road/situation550.pdf>

【報道】新役員などの紹介は総会記事をご参照ください。

セキュリティ産業新聞 6月10日号 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230610.pdf>

警備新報 6月15日・25日合併号 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230615.pdf>

警備保障タイムズ 7月1日号 <https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230701-2.pdf>



工業会 JEAS 事務所

〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1
YOTSUYA TOWER 7F

総会 第1部 来賓挨拶

総務省総合通信基盤局 電波部電波環境課
課長補佐 藤原 史隆 様



こんにちは。ただいまご紹介いただきました、総務省電波環境課の藤原でございます。本日は、工業会日本万引防止システム協会さまの総会にお招きいただきまして、誠にありがとうございます。本日の総会では、稲本会長をはじめ協会の皆さまと、表彰された皆さまが、さまざまな角度からご尽力、またご活躍されていることをお伺いし、大変頼もしく感じました。

さて、昨日6月1日は電波の日でした。電波の日は、昭和25年6月1日の「電波法」「放送法」の施行を記念して設けられたものでございます。また、6月1日から6月10日までを、電波利用環境保護周知啓発強化期間としております。

戦前の「無線電信法」では「無線電信及無線電話ハ政府之ヲ管掌ス」とされておりまして、電波利用のほとんどが官業利用でございました。戦後に「電波法」が制定され、民間放送をはじめとして、電波利用が国民に広く開放されることになりました。それから満73年になりますけれども、社会のあらゆるところで電波が利用され、なくてはならない存在となっております。

電波利用が普及するにつれ、電波からのあらゆる影響を不安に思うという声も強まっております。不安の声は、携帯電話、電子レンジのほか、EASなど各種無線設備についても寄せられております。

このような不安の声にこたえていくとともに、電波をそれぞれの方が必要なときに利用できるようにするためには、皆さまでルールを正しく守ることが重要でございます。具体的には技術基準を守ること、それから適切に運用することです。

技術基準を守るといことは、限られた資源である周波数を多くの利用者で共有していくうえで必要最低限なルールです。

適切な運用については、法令に定められたものを守ることには限りません。例えば、植え込み型心臓ペースメーカーなどの医療機器が、電波により誤作動することが知られております。総務省では、本日ご参加されていらっしゃる日景先生にもご協力をいただいておりますが、電波の医療機器等への影響に関する調査を毎年行っております。その結果を踏まえまして、各種電波利用機器の電波が植え込み型医療機器等へ及ぼす影響を防止するための指針を定めており、その周知・啓発に努めております。

協会の皆さまには、EASステッカーなど、まさに目に見えるかたちで取り組んでいただいております。これが安心・安全につながっていると思っております。

総務省では、今後もあらゆる手段を尽くし、電波利用環境の整備・維持に努めてまいりますので、皆さま方におかれましても一層ご協力いただけますと幸いです。

最後になりますが、本日ご列席の皆さまのご健康をお祈りしまして、私からのご挨拶とさせていただきます。今日はどうもありがとうございました。

みんな知ってる？
電波の不正利用は
犯罪なんだよ！

電波を正しく使わないと、
警察や消防の無線やスマホなどの通信を
妨害するかもしれないんだって。

電波が妨害されると
君もつながれなくなっちゃう。
そんなのいやだよ。

電波はルールを守って正しく使おう！

- ①無線機器を使用する際は「技術マーク」の確認を。
- ②外国規格の無線機器にはご注意ください。
- ③電波の利用には原則免許が必要です。

総務省 総合通信基盤局
https://www.tele.soumu.go.jp/

詳しくは、総務省 電波利用ホームページ
電波利用 検索

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/adm/monitoring/>



個人情報保護委員会事務局 企画官
大星 光弘 様

あらためまして、個人情報保護委員会事務局の大星と申します。本日、こうして通常総会、記念講演が盛会に行われたことをお慶び申し上げます。

今日はロボットの話、そして小売りの自動化の話がありましたけれども、前職は、経済産業省でロボット担当をしていました。そこで、造語ですが「ロボットフレンドリー」という言葉を掲げて、日本のロボットを発展させていくことを考えていました。

その内容として、工場のロボットは、日本はすごいんですね。ファナックさん、安川電機さん、川崎重工業さんなどが、自動車産業、また、その部品関係を支えてきたのですが。飲食店などで導入されているサービスロボットと言われるものは、そういったロボットは、中国の生産が多い。

おそらく、皆さんはロボットと一緒にエレベーターに乗ったことはないと思いますが、日本の場合は、システムの方もご存じだと思いますが、一番いいものをつくったから売れるというわけではないんですね。

例えば、結構前になりますが、六本木ヒルズの回転扉で事故が起きました。日本は安全性に関してはすごく厳しいです。

エレベーターは、ロボットが乗るためには通信連携が必要です。けれども、エレベーター会社にとっては安全が第一なので連携するのに高いハードルがある。もし何か事故が起こったら誰の責任になるんだと、命に関わってくることで。そういったなかでは、スタートアップ企業がなかなか育ちにくいです。

そういったなかで日本はどうするか。大手と一緒に連携していくことですね。1つが東京駅の丸の内の高層オフィスではスマートシティを掲げて、そこにロボットをうまく活用していくかたちで、ロボット会社と利用者が一緒になってやっていく。

そしてまた新しくできた高輪ゲートウェイ駅の目の前も、再開発をして新しいビルディングができていくと思いますけれども、駅周辺において、ロボットの導入が進んでいくと思われま。

また、日本の場合は、ホテルや旅館も靴を脱いで上がる文化ですが、段差がありますよね。ロボットはその段差が大変です。そういったロボットが動きやすいような環境を整えていきたいと思います。ということで、段差を減らすとか、照明もロボットが検知しやすいように明るくしていくとか、そういったイメージで「ロボットフレンドリー」を掲げて、スタートアップ企業とともに、受け入れる大手の人たちと一緒にやられているところがございます。

個人情報についても、ルールをつくるほうと、それを実際に利用する皆様方、そして利用者本人とコミュニケーションをとりながらやっていくことが非常に重要だと思っております。

1つの例といたしまして、私どもは、カメラ画像についての検討会を、昨年から1年以上かけて検討を行ってきたところです。これは、これまでの防犯カメラに、顔画像についてのデータベースを用いている顔識別機能付きカメラシステムについて検討を行いました。これは首都圏の主要な空港や駅の一部に導入されていますけれども、施設で犯罪を犯した人をデータベースに事前に登録しておいて、カメラに映った人をマッチングさせるというシステムです。

これについて個人情報をどう扱うべきか、これまでも工業会の皆様にいろいろご意見をいただきまして3月末に発表しました。4月の1カ月間で、2,000ぐらいのダウンロードがあったり、最近の講演でも1,000人ぐらいの人に参加していただくなど、非常に興味を持っていただいています。この報告書は、工業会の皆さんに非常に貢献していただいて、いいものができたなと思っております。ありがとうございます。

今後も、新しい技術が出るなかで、いろいろな個人情報をどのように扱っていくかについて、工業会の皆様と密に相談していきたいと思っております。最後に、会員の皆様と工業会のますますのご発展を願って、私のあいさつとさせていただきます。

The infographic details the use of face recognition camera systems. It includes a flowchart showing the process from camera capture to database matching and notification. Key points include: 1. Identification of individuals in the camera frame. 2. Matching with a pre-registered database. 3. Notification to relevant parties. It also lists three main considerations: 1. Privacy protection, 2. Security of the database, and 3. Accuracy of the recognition system. A QR code is provided for more information.

感謝状贈呈の皆様からの受賞コメント

◆株式会社三宅 代表取締役社長 三宅 正光 氏 (JEAS 副会長)

この度は感謝状をいただき本当に有難うございます。振り返ってみますと当協会が設立されて22年の歳月を刻んでいます。設立当初の目的は万引防止システムを輸入販売している商社と、国内で製造販売している企業が参画し、業界が一体となり心臓ペースメーカーへの影響を考慮するガイドラインを作成することでした。その後、万引き防止の技術進化と保安警備とのコラボなどによりカメラメーカー、顔認識システムメーカー、保安警備の企業などが参画され工業会日本万引防止システム協会として成長をしてきました、これからも防犯という社会貢献を果たすべき協会として発展していかれることを見守っていきたいと思います。

◆一般財団法人流通システム開発センター元調査部長 佐藤 聖 氏 (JEAS 顧問)

この度は、ふるさと JEAS から思い掛けず感謝状をいただき、感慨に耐えません。

わが国には、万引犯罪の社会経済に与える大きな打撃や人々の生活にもたらす大きな不利益に何とか立ち向かおうとするサムライが集う団体が2つあります。万防機構と JEAS です。そして2006年に NPO 万防機構を生んだのは2002年生まれの JEAS であることをご存じない業界人も多いことに感慨を新たにしました。

JEAS は万引防止システム・機器の普及促進から防犯画像技術の開発まで、その活動範囲は留まるところを知りません。その JEAS から感謝状を拝受したことの重い意味を、亡き戦友・福井昂氏を偲びながらしみじみ感じております。本当にありがとうございました。

◆北海道大学 准教授 日景 隆 様

この度は、感謝状を拝受し、大変うれしく深く感謝の意を表すとともに、お礼申し上げます。私どもは、(一社)日本不整脈デバイス工業会のご協力のもと、日本万引防止システム協会会員企業 EAS ゲートの植え込み型医療器に対する電磁干渉 (EMI) 評価試験に取り組んでまいりました。この感謝状は、北海道大学情報科学研究院 ワイヤレス情報通信研究室の OB/OG を含む所属メンバー全員の努力を認めて頂いた証であると認識しており、そしてこれからも一層努力を重ねていくべきという強い意志を新たにしました。今後も皆様の期待に応えられるよう活動に取り組んでまいります。改めて、貴重な感謝状の贈呈、誠にありがとうございました。皆様の更なるご健勝とご発展を心からお祈り申し上げます。

◆ひかり総合法律事務所 弁護士 板倉 陽一郎 様

この度は身に余る栄誉を頂き有難う御座います。授与理由に挙げて頂いた渋谷書店万引対策共同プロジェクトは、顔識別に係る特徴量情報について、法人を超えて共同利用するという踏み込んだ取組みであり、単に法的な裏付けのみならず、顧客や社会の理解を得ることが必要です。幸いにも、透明性を高めた姿勢は各方面に受け入れられていると認識しています。貴会の認定個人情報保護団体としての取組みにも引き続き期待しております。

本来的には、犯罪予防と国民の権利利益の関係については法的にも政策的にもより厚い議論が必要ですが、政治的には避けられがちであり、学問的にも法分野の狭間に陥りがちです。他方、国際的にはテロ対策への先端科学技術の導入を含め議論の多いところであり、我が国も対応できる体制が求められます。その際には、既に民間の立場から取り組んでおられる貴会における経験、議論からも問題提起を頂ければ大変幸いです。



1. 学校教育の未来と ICT 活用 ～宇宙エレベーターで未来を考える～

神奈川大学附属中・高等学校 副校長

宇宙エレベーターロボット競技会実行委員長 小林 道夫 様

本日のテーマは「学校教育の未来と ICT 活用」です。中学校、高校でコンピューターを使ったプログラミング教育がスタートしたのは1989年です。その後さまざまな変遷を経て、21世紀にはいり「知識基盤社会」となり新しい知識・情報・技術を持つことの重要性が飛躍的に増えています。

その中で、これからの子どもたちは、ICT 活用能力、コミュニケーション能力、語学力、読解力をしっかりと身に付けていく必要があると考えます。

対象65か国の地域や国が参加した学力調査では、日本は学習指導要領があつて管理されていますから、学力は上位で、例えば科学的リテラシーは2位にきています。一方で日本の若者は、諸外国と比べて肯定的に捉えていません。「もう勉強したくない」「将来に希望を持ってない」と思う子どもも多く、誇りを持っている者の割合も低いのです。



Society5.0とは、Society1.0、2.0、3.0、4.0の情報社会の次にある創造社会です。社会はさまざまな問題・課題解決をしていかなければなりません。知識を伝達だけの教育から、議論、体験、学び合いといった教育に変えていく必要がある。そして、正解のない問題に取り組むために、「創造力」「デジタル技術」データを活用する「データサイエンス」は、これからの教育に絶対必要になります。

それでは、これからの学校教育はどうあらねばならないのか、教師はどんな能力を持っていなければならないのでしょうか。

GIGA スクール構想は、生徒1人に1台コンピューターを持たせて、発見学習、問題解決学習、グループワーク、そしてプログラミング、プレゼンテーション、そして、教材の配布や宿題など学習管理、こういったことをしっかりと自分たち一人ひとりができるようにしていくことを目的としています。

今日、ぜひ皆さんにご紹介したかったのが、宇宙エレベーターです。大林組が2050年に地球と宇宙をつなぐ「宇宙エレベーター建設構想」を2012年に発表いたしました。

こういった夢物語、SFの世界の話をも、日本の企業が提唱しているのですから、日本の子どもたちにも、授業で取り入れてみたらどうだろうかと考えました。また世界の子どもたちも呼んで宇宙エレベーターロボット協議会を立ち上げました。子どもたちが使いやすいように、デンマークの玩具メーカーLEGO社が、プログラミングをしながらロボットを作成できるというマインドストームというロボットをつくりました。

またロボット競技会をつくり、小学生から高校生まで、一緒に技術、またはものづくりの考え方を身に付けながら、みんなで集まって競技をするものです。

こういった実践がSociety5.0社会の子どもたちに必要だろうと。そして、生徒の主体性・協働性を引き出して、教師は教えるというよりも支えていくところが変わっていく。

「学び」とは、単に知識を習得させるだけではなく、「実験」「調査」「話し合う」などをする中で、もっと知りたいという意欲を持たせ、新たな発見や知識に結び付けていこうというものです。テクノロジーの進歩は止まらず、楽しみながら探求することが新たな学びにつながるのです。

このように日本の学校教育、そしてこれからの教育の在り方は、変わっていかなければいけない。それを変えていくのはわれわれ大人ですし、新たなテクノロジーを活用し、そして子どもたちにしっかりと学ばせて、そのなかで新たな価値を見だしていく子どもたちを育てていくことが大変重要になってくるのだらうと思っております。

2. 小売業のチェックアウト改革と防犯・ロス対策のチャレンジ

(一社)リテールAI研究会 理事

(株)Retail AI 兼 (株)トライアルホールディングス エグゼクティブアドバイザー 西川 晋二 様

リテールAI研究会はリテール分野での新しい買物体験を実現するために、AIテクノロジーをビジネスに活用するために業種業態の枠を超えた他の多くの企業とのコラボレーションのため、流通業界および流通業に関わるすべての企業に開かれた場を提供しようと活動をしています。

アマゾンがアマゾン・ゴー（入店時にQRコード、掌認証などのIDを読み込ませるだけで、あとは商品を手に取り、レジは存在せず、そのまま店外に出て買物が完結する。Just Walk Out 略してJWOと呼ばれる）という画期的な店舗システムをスタートさせたときは、これで万引がなくなるのではないかという見方をする人もいました。しかし、現在コストの問題も含めてなかなか成果を上げられていません。しかし、アマゾン・ゴーが起こした波が、今後どのような形で変化していくのかしっかり見ていかなければいけないと思います。



さて、我々の問題意識は、日本の小売業にはまだまだムダ・ムリ・ムラが多いということにあります。生産性向上のためのイノベーションを起こすことを目指しており、そこにビジネスチャンスがあるという確信を持っています。

その基本的な考え方は小売業だけではなくさまざまな業種・業態が一緒になってイノベーションを起こすことです。

現在、トライアルカンパニーの169店舗には既にスマート・ショッピングカートが15,000台を導入されており、お客のレジ待ちを解消するだけでなく、来店頻度の向上やレジ人時が20%減など、大きな成果を上げています。

今回、フォーカスしなければいけないのは、スマート・ショッピングカートを導入する中で不正行為をどう防ぐかという悩みが生じているということです。スマート・ショッピングカート導入によってあえて拡大推計をするとロスが60%ぐらい増えるわけです。スキャン忘れ（もれ）だけではなく意図的な不正があるということです。スマート・ショッピングカートを普及させるためにはここにチャレンジして、不正を撲滅していかなければなりません。

我々は、少なくとも従来並みのロス率にしようとチャレンジしています。我々は実店舗のオペレーションを専門にしているので、実店舗でシステムを磨き上げ、変化させていく。そして新たな仕組みや工夫を加えていくことで現在のシステムを進化させていく。このサイクルをずっと回し続けています。

現状は、スキャン忘れに関してはアラームが出るようになってきました。スキャンせずに物を置くと、「お忘れじゃないですか」と言うわけですね。それから、最後の出口でのスキャンチェックも、非常に工夫を重ねてきて、従業員のスキャンチェック端末で、指示に従って最適なチェックをする。あまり過度になりすぎて、お客様の不評を買い、お客様のストレスが上がることなく、かつ、チェックができる状態を目指して、取り組んでいます。

スーパーセンター・トライアル田川店では我々が開発したフルパッケージの防犯システムでスマート・ショッピングカートで生じると考えていたロスの増加分を取り戻すことができました。今後の取り組みとして、これをより多くの複数の店舗に導入する、またロス率を更に下げるといった目標に向かって様々な取り組みをしていきます。

このようなことをやりながら「無駄なところには何もないが便利である」という店を実現したいのです。小売業やっている以上、我々はお客様に対してよりよい商品を買っていただき、更に快適な買物環境を実現しなくてはなりません。

これからの少子高齢化、労働力の不足、世界と比較して低い労働生産性など解決すべき課題は多くあります。そのような中で、繰り返しますが、我々は「無駄なところは何もない、でも便利で、それに加えて安心して買物ができる」というお店を作っていくなくてはならない。そういう取り組みをこれからも進めていきます。

※小林先生のプレゼンや両登壇者の講演速記録は会員ページのc_35にあります。

令和5年度事業計画

万引撲滅・ロス対策を通して、犯罪に強い持続的社会的の実現に向けて JEAS の役割を果たそう！

防犯民主主義実現の旗の下、EAS 機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会として、「万引犯罪をさせない店舗作り」の推進を通じて、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止や高齢者等の孤立防止、さらにはプライバシーへの配慮という産業的、社会的役割を果たすべく活動して参ります。

本年度、当工業会では、以下の観点で事業及び各対策を強化していく所存です。

テーマ：ロス対策・パラダイムシフト*つながる心が生む新世界～協働防犯～

- 1) 工業会 日本万引防止システム協会の認知度UPのためユーザー団体様や関係機関との連携強化並びに会員増強
 - ・セキュリティショー大阪2023にブース出展 7月20日～21日<新>
 - ・セキュリティショー2024にブース出展、セミナー開催 3月12日～15日
 - ・ソフトウェア協会 顔認証ビジネス研究会主催のセミナー講師派遣 5月9日<新>
 - ・先端設備等に係る生産性向上要件の証明証発行の工業会活動（本年から2年延長）
- 2) 万引防止システムの理解を深めていただくための広報活動・
 - ・通常総会記念講演会 6月2日
 - ・2023年度ロス対策年間チャートの制作と配布 4月25日
 - ・万引防止システムハンドブック第4版の作成
 - ・新聞や雑誌などへの運用事例の強化、工業会FBやメルマガでの各社紹介
- 3) 万引防止システムの知識向上のための研修
 - ・15分勉強会/JEASメール/JEASフェイスブック等での情報提供
 - ・第3回科学保安講習会開催11月16日 第3回科学保安前講習（保安警備業務の手引）10月19日
 - ・JEAS22周年記念慰労&健康増進会 6月2日<新>
- 4) 心臓ペースメーカーなどの医療機器装着者と共存を図るための活動
 - ・EASステッカーやEAS導入店表示POPの普及促進、北大での干渉テストの継続実施
- 5) 無人店舗などのDX推進とLP両立のための調査
 - ・セルフレジ不正防止のための冊子作り<新>
 - ・DX推進プロジェクトの継続、DX推進流通業の視察
 - ・AI関係やDX推進の団体やコンソーシアムとの連携
- 6) 機器の信頼性アップのための対策推進
 - ・第4回推奨顔認証システム審査5月募集開始、9月4日・6日～8日実施（都内）、11月16日発表
 - ・顔認証導入店告知や推奨顔認証ステッカーの普及促進
 - ・電波法、電安法などの関連の情報収集と知識習得
- 7) 解除器の盗品流通防止活動
 - ・ネット等の個人への販売中止依頼と各社サイトでの簡易解除器の削除の継続
- 8) 万引防止システム関係に係る関係法令対策活動
 - ・個人情報保護法対応と個人情報保護委員会への調査等協力
- 9) 業界発展を目的とした調査、提案等の活動
 - ・2023年業界別ユーザーのセキュリティ等のニーズ調査（日本能率協会委託）<新>
 - ・JEAS推奨製品認定制度の発令と実施<新>
 - ・企業間の協働防犯の推進！即時情報や分析データの共有をネットも含めて進める。<新>
 - ・海外から来られた新たな仲間の紹介
 - ・ロス・プリベンション教育の推進（ロス対策士合格者報奨制度の継続など）
- 10) 所轄官庁はじめ関連諸団体との連携強化
 - ・電波及び機器に関することについては、総務省・経済産業省・厚生労働省と連携
 - ・万引防止活動に関しては、警察庁・都道府県警察・全国の万引防止団体と連携

を表示するなどしてお客様が撮影されていることを認識できるようにする措置を講じることをお願い申し上げます。

転売や廃棄時の対応

サーマルカメラや検温リーダー等に記録された顔画像とこれと一緒に登録された体温などの情報は、「個人情報」に該当致しますので、それらの機器を譲渡などで第三者に渡す場合には、記録データの確実な消去をお願いします。消去方法に不安がある場合は、データ消去企業に引き取っていただくか物理的な破壊などの安全管理の観点からの対応をお願いします。

法令違反

蓄積された顔画像等の個人情報のデータを消去せずに転売や廃棄することは、個人情報保護法に抵触する恐れがあります。

引き続き、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

※正しい活用と個人情報に配慮を解説したサーモカメラ・ガイドライン2020年度版

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20200710.pdf>

満員御礼 セキュリティショー2023 JEAS ブースとセミナー

セキュリティショー 2月28日（火）～3月3日（金）東京ビッグサイト東3ホール SS3129に出展し、約200名の皆様にご来場いただきました。2月28日（火）13:30～14:30東3ホール内 SECURITY SHOW ステージの「緊急指令！セルフレジ不正防止・レジ前万引を阻止せよ！」には会場及びオンラインで850名の皆様にご参加いただきました。



JEAS サイバーセキュリティ対策緊急セミナー

5月16日（火）JEAS 緊急セミナー「世界のサイバー攻撃の現状とトレーニングの重要性」が開催され、30名の方が参加されました。警備保障タイムズ6月1日号に掲載された内容を掲載します。

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20230601.pdf>



新規正会員あいさつ

 **SCIENCE ARTS** 株式会社サイエンスアーツ 代表取締役社長 平岡 秀一

サイエンスアーツは「世界中の人々を美しくつなげる」をミッションに掲げ、100%自社開発のスマートフォン IP 無線アプリ「Buddycom (バディコム)」を開発・販売を行っております。

Buddycom (バディコム) は、デスクレスワーカーをつなげるライブコミュニケーションプラットフォームとして、音声でのやりとりはもちろんのこと、映像やテキスト・位置情報の共有など、現場のコミュニケーションを活発化させるため、進化し続けて参りました。

防犯の面では、音声 DX サービスとしての役割はもちろんですが、ライブキャストというリアルタイムに映像配信・共有できる機能を使い、最近では SAFR と連携し、認証情報を音声と文字、映像で一斉に配信・共有できるようになりました。

今後も防犯面を含め、より現場のコミュニケーション力を強化できるようなサービスを提供できるよう皆様と共に取り組んで参ります。

<https://www.buddycom.net/ja/index.html>



15分勉強会

4月20日(木)第1回理事会には、15分勉強会は(株)エイジス 奥野尚洋様よりメンテナンスサービス『Break Fix』について学びました。資料は会員ページのd_36にあります。

セルフレジ不正防止のための冊子作りのための委員

ECR ヨーロッパの2018年の調査によるとセルフレジの売上構成比が1%増えるとロスが0.01%増えるとあります。つまり、売上構成比が50%となるとロスは0.5%増えることになります。

その対策として「セルフレジ不正防止のための冊子作りのための委員」を立ち上げ、5月23日、6月23日に会合を行い、業界統一の冊子の作成しております。

日本NCR(株)、グローリー(株)、寺岡精工(株)、東芝テック(株)、NECプラットフォームズ(株)、富士通フロンテック(株)に参加いただいております。



個人情報管理室だより

3月31日(金)に個人情報管理室が対象事業者である高千穂交易(株)の情報共有システムの運用監査を実施しました。ガイドライン・利用規約・ユーザーレポート・閲覧画面について個人情報保護観点からチェックを行いました。

6月8日(木) Casley Deep Innovations(株)の個人情報保護指針の内容確認を行いました。



創立22周年記念 慰労会参加者の皆様 お疲れ様でした

参加者より頂戴したメールを代表して、ネクストウェア株式会社 取締役
執行役員 スマートビジネス営業本部 本部長 藍 佐和子様の内容をご紹介します。

----- Original Message -----

件名：創立22周年記念 慰労会参加者の皆様 お疲れ様でした。

送信日時：2023年06月05日（月）08:34:27

稲本会長様、皆様

ネクストウェアの藍です。

金曜日は総会ありがとうございました。総会内容、講演とてもよかったです。ご準備など、大変、だったことと思いますがお疲れ様でございました。また、その後の会、私ははじめて皆さんと一緒に、参加させて頂きましたがとても楽しかったです。

皆さんの仲間入りさせて頂き、とても嬉しく、有難く思いました。皆さん、おひとりおひとりに御礼メールをだしたい気持ちでいっぱいですがまずは皆様宛のメールで失礼します。今後もよろしく願いいたします。

夕食後の意見交換会は30分参加のつもりが楽しく、長居をし、そして、最後まで参加させていただきました。

最後、米山理事のお店もとても素敵なお店でプライベート、そして、また、皆でも行きたいです。

広島に帰られる山根副会長、新幹線大丈夫でしょうか。この件が一番、心配をしております。

稲本会長、奥様とても素敵なお方でご参加頂き、ありがとうございました。さらに楽しく参加することができました。よろしくお伝えください。

皆さん、これからもどうぞ、よろしく願いいたします。 藍 佐和子



6月3日（土）有志で三千年の歴史を有する筑波山神社と世界最大の牛久大仏を参拝し、業界発展などを祈願しました。

ロス対策士情報と JEAS 報奨制度について

～各方面で活躍するロス対策士～

副会長

近江元

全国万引犯罪防止機構のロス対策士検定試験制度は、万引犯罪、内部不正、業務上のエラーなどを含む不明ロスについての実務的な知識を身に付けることを目的としたものです。

今までに小売業、JEAS 会員など多数の方々がロス対策士の資格者となり、各分野でロス対策に取り組み始めています。

さて、JEAS では、ロス対策士検定試験の受験を促進するために JEAS 会員企業に所属する資格試験合格者の方々への褒賞制度（図書カード進呈）を設けております。

是非とも一人でも多くの方々がこの資格を得て、主要な顧客である小売業、特にチェーンストア企業に対して、ソリューションとしてのサービス提供につなげていただきたいと思います。

JEAS 企業に所属する資格試験合格者への褒賞制度

<https://www.jeas.gr.jp/pdf/20220810.pdf>

ロス対策士検定試験は年 3 回予定されており、詳細は、全国万引犯罪防止機構のホームページをご覧ください。

<https://www.manboukikou.jp/exam-about/>



ロス対策士コミュニティ



+ 招待する



工業会 日本万引防止システム協会のご案内

工業会 日本万引防止システム協会は、EAS 機器等の万引防止システムを製造・販売する企業の業界団体であり、流通業界の健全な経営、また青少年の非行防止という産業的・社会的役割を果たすべく、行政機関、関連業界団体とともに連携をとり活動しています。

■目的

本会は、万引防止システムの産業的、社会的な役割を果たすために、万引防止システムの円滑な普及・発展に資する制度・政策・計画等の建議と実行、行政機関・関連業界団体あるいは生活者等の間での認識向上、相互の間の調整、万引防止システムに関する内外の情報収集と提供を行い、業界の健全な発展と安全で豊かな国民生活に寄与することを目的とする。

■会員の種別

(1) 正会員

本会の目的に賛同して入会した次の企業および団体とする

●万引防止システム製造ないし販売している企業および団体

●今後、万引防止システムを販売ないし提供しようとする企業および団体

●万引防止に関連するサービスを提供する業界（警備業等）や関連業界（防犯カメラ設備等）に属する企業など

●万引防止システムを販売ないし提供する企業に対し商品や部品の供給事業を行う企業および団体

(2) 賛助会員

本会の事業を賛助するために入会した次の企業および団体とする

●小売業に商品供給しているメーカーおよび物流企業

●小売業にサービスを提供している企業および団体

(3) 特別会員

本会の目的に賛同し、協力をする団体会員

■会費（2019年6月6日改訂）

	年間売上金額	年間会費 万円
正会員 ①	40億円以上	33
②	20億円以上、40億円未満	28
③	10億円以上、20億円未満	22
④	5億円以上、10億円未満	17
⑤	3億円以上、5億円未満	13
⑥	1億円以上、3億円未満	11
⑦	1億円未満	9
賛助会員		4
特別会員		無料

基本は内部不正対策などを含むロス対策に関わるシステム販売の年間国内売上に応じた年間会費とする。

■入会条件、入会申し込みはこちらのサイトをご確認ください。

<http://www.jeas.gr.jp/intro06.html>

新規入会企業および団体を募っています。

◎万引防止システムを製造ないし販売している企業の皆様

◎万引防止対策を担当している警備業や防犯カメラ設備に属する企業の皆様



編集後記・事務局だより

令和5年度通常総会は、すべての議案が賛成多数により可決されました。

これからも当工業会は、襟を正して、皆様の安心・安全のための活動をしていきたいと、再度心に誓いました。

総会後の「慰労&健康増進会」、稲本会長の数年に渡るご発議の結果、ようやく開催できました。当日は、線状降水帯が発生し、かなりの豪雨のなか、筑波山を目指しました。

宿泊した江戸屋では、参加者の自己紹介（表パート、裏パート）などで明け方まで盛り上がりました。

翌日も、急なプラン変更にもかかわらず、フェニックスバスの方に臨機応変に対応いただき、楽しい牛久観光ができました。

皆様、お疲れ様でした。

田丸

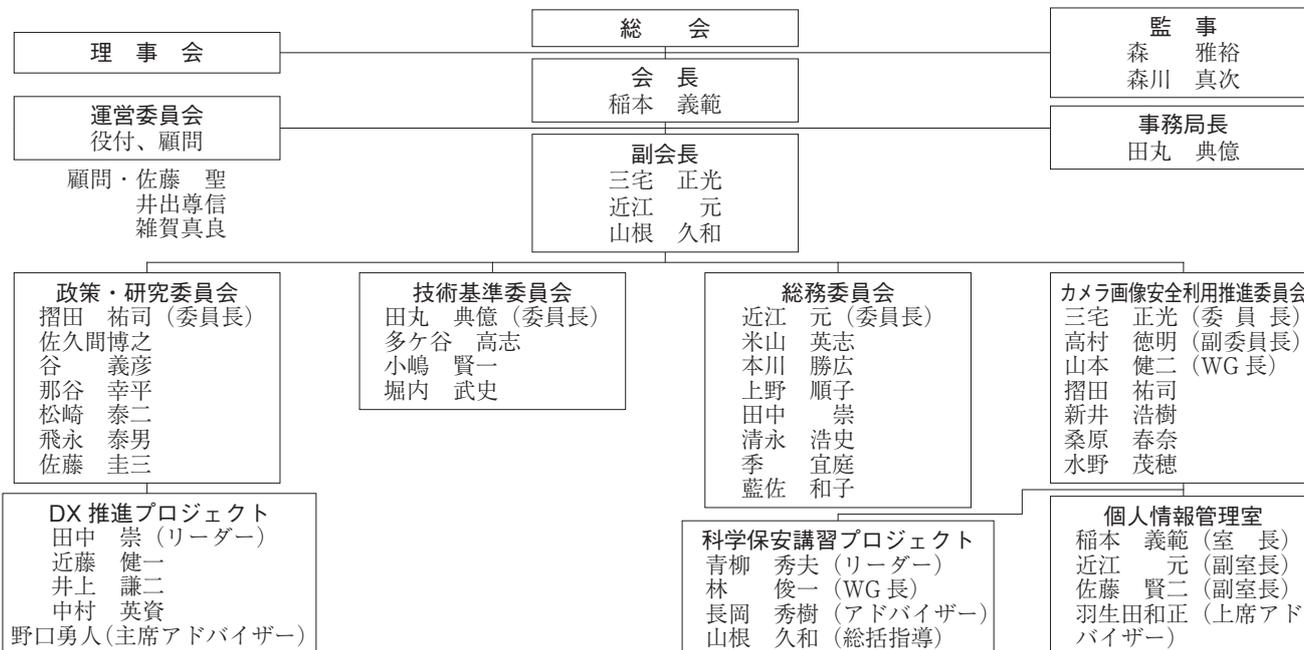
令和5年度 工業会 日本万引防止システム協会 役職一覧

No.	工業会役職	社名・団体名	役職名	氏名
1	会長	高千穂交易 (株)	事業開発室上席コンサルタント	稲本義範
2	副会長	(株) 三宅	代表取締役社長	三宅正光
3	副会長	NPO 法人 全国万引犯罪防止機構	理事 LP 教育制度作成委員長	近江 元
4	副会長	セフトHD (株)	代表取締役社長	山根久和
5	理事 (政策・研究委員会)	IDEC ファクトリーソリューションズ (株)	セールスマーケティング本部 EAS 営業部 部長	谷 義彦
6	理事 (政策・研究委員会)	(株) キャトルプラン	代表取締役社長	佐藤圭三
7	理事 (政策・研究委員会)	(株) セキュリティデザイン	営業副本部長	那谷幸平
8	理事 (政策・研究委員会)	(株) 店舗プランニング	代表取締役	飛永泰男
9	理事 (政策・研究委員会)	日本電気 (株)	スマートリテール統括部 映像アナリティクスグループ	摺田祐司
10	理事 (政策・研究委員会)	ビブリオテカ・ジャパン (株)	営業部部長	松崎泰二
11	理事 (総務委員会)	マイティキューブ (株)	代表取締役社長	本川勝広
12	理事 (総務委員会)	(株) エイジス	新規事業推進室長	米山英志
13	理事 (総務委員会)	NEC ソリューションイノベータ (株)	九州支社 第二グループ KAOATO グループ 主任	上野順子
14	理事 (事務局長、技術基準委員会)	タカヤ (株)	事業開発本部RF事業部 営業部SS担当マネージャー	田丸典億
15	理事 (カメラ画像安全利用推進委員会)	グローリー (株)	リテールソリューション 販売支援部	山本健二
16	理事 (カメラ画像安全利用 推進委員会)	リアルネットワークス (株)	アジア太平洋地区副社長	高村徳明 (新任)
17	理事 (カメラ画像安全利用 推進委員会)	(株) GeoVision	企画営業部チーフ	桑原春奈
18	理事 (個人情報管理室)	(株) ゴジョウ・ウェイズ	代表取締役社長	佐藤賢二
	監事	Matsuo Sangyo (株)	執行役員統括部長	森 雅裕
	監事	アクシスコミュニケーションズ (株)	シニアアカウントマネージャー (リテール)	森川真次

敬称略・順不同

顧問 佐藤 聖 元 (一財) 元流通システム開発センター 調査部長
井出尊信 高千穂交易 (株) 代表取締役社長
雑賀真良 元 (株) オカムラ商環境事業本部 セールスサポート部 (新任)

令和5年度 工業会 日本万引防止システム協会 組織図



つながる心が生む新世界～協働防犯～

～ 防犯民主主義実現に向けて ～

EAS機器と防犯カメラとロス・プリベンション推進のための工業会

工業会 日本万引防止システム協会

正会員

(正会員数 40社)

アイアンドティテック(株)	(株)セキュリティデザイン
IDECファクトリーソリューションズ(株)	CIA(株)
AWL(株)	(株)GeoVision
アクシスコミュニケーションズ(株)	シグマ(株)
アースアイズ(株)	セコム(株)
(株)アジラ	セフトHD(株)
アドセック(株)	高千穂交易(株)
(株)エイジス	タカヤ(株)
NECソリューションイノベータ(株)	チェックポイントジャパン(株)
エム・ケー・パビック(株)	(株)店舗プランニング
(株)オカムラ	日本NCR(株)
(株)Casley Deep Innovations	日本電気(株)
(株)キャトルプラン	ネクストウェア(株)
(株)杏林社	パナソニック コネクト(株)
グローリー(株)	富士通フロンテック(株)
(株)ゴジョウ・ウェイズ	ビブリオテカ・ジャパン(株)
(株)KSM	マイティキューブ(株)
(株)サイエンスアーツ	Matsuo Sangyoグループ(株)
サクサ(株)	(株)三宅
(株)JSS	リアルネットワークス(株)

賛助会員

(株)アスラボ	チェスコムアドバンス(株)
亜細亜印刷(株)	(株)NICCOサポート
(株)自己啓発協会	(株)日本保安
(株)セキュアリンク	(株)ロケット
三愛化成商事(株)	

特別会員

公益社団法人 日本防犯設備協会
一般社団法人 日本自動認識システム協会
一般社団法人 全国警備業協会
NPO法人 全国万引犯罪防止機構
関西万引対策連合会
一般社団法人 リテールAI研究会
タグ&パック事務局
一般社団法人 ロスプリベンション協会

(2023年6月2日現在)

JEAS委員会組織

カメラ画像安全利用推進委員会

委員長・副会長 三宅 正光



推奨顔認証システム
ステッカー

小売業や物流現場のカメラ画像の効果的な利用状況やセキュリティ対策を調べ、システム提供者側の販売指針を発表することで、カメラ画像の適切な利用促進に向けての環境整備を行う。平成28年度に「防犯カメラや画像認識システムの安全利用のお勧め」を制作。

令和2年に推奨顔認証システム制度をスタートさせた。

技術基準委員会

委員長・事務局長 田丸 典億



EASステッカー

平成20年10月、EASと医療機器との干渉試験を実施することになり、その方法等の内容を検討し実施するために、技術基準委員会が設置された。

- ①対ベースメーカー等との干渉実験
- ②電磁界測定
- ③電気用品安全法対応
- ④各種の基準作り

政策・研究委員会

委員長・理事 摺田 祐司



JEASとして、取り上げるべき問題・課題の検討を行い、その結果を委員会の責任において、行政機関・関連団体・報道機関等に対し建議および提言・アピールを行う。

調査研究事業として、わが国における万引防止システムの普及推進のための必要な調査研究及び会員の基礎教育を行う。

総務委員会

委員長・副会長 近江 元



工業会全般のスタッフ業務と工業会を司る。事務局と密接な関係を保ちながら主として次の業務を行う。会計、広報、渉外、規約の起案と見直し、他の委員会に所属しない業務を専門的に行う。国内情報・海外情報を広く収集し、必要に応じてそれらを取りまとめ、国の内外へ広報する。「15分間勉強会」や「業界で活躍する女性」が好評につきシリーズ化した。

理事会・運営委員会

会長・個人情報管理室長 稲本 義範 (総合防犯設備士、公認不正検査士、万引き防止責任者養成講座担当講師)

速報!

イベント情報

詳しくはJEASの
Homepage & Facebookにて

- 7/20(木)～21(金) セキュリティショー大阪2023出展
- 8/25(金) 営業・マーケティング/広告・販促/店舗・EC DXPOにて セミナー「セルフレジ不正をどう防止するか～最新テクノロジーとお店でできる対策集～」を開催

JEASフェイスブック
ロス対策メルマガ
好評配信中!

工業会 日本万引防止システム協会会報第39号

□発行日：2023年7月6日 □発行人：稲本義範
□発行：工業会 日本万引防止システム協会 事務局
〒160-0004 東京都新宿区四谷1-6-1 YOTSUYA TOWER 7階
TEL：03-3355-2322 FAX：03-3355-2344
ホームページ <https://www.jeas.gr.jp/>
フェイスブック <https://www.facebook.com/JEAS.JAPAN/>
メルマガ <https://www.jeas.gr.jp/mail.html>
法人番号：9700150096387

ご相談窓口について

工業会 日本万引防止システム協会では、万引防止システム全般に関するご相談の窓口を開設しております。ご相談窓口では、皆様からのEAS機器等の万引防止システムに関するご質問、ご相談、苦情などをお受けしております。ご連絡先は、左記の工業会 日本万引防止システム協会事務局宛となります。